

『どうでも』 作：ポチ子

『どうでも』 作：ポチ子

どうでもいい奴が死んだって、

どうでもいいだろ。

どんな死に方をしようが、

どうだっていい。

昨日まで知らなかったくせに、

今日だって大して知らないくせに、

急に親しいフリ。

あの子はあんたの何だったの。

なんでもなかっただろ。

それを、

どうでもいい奴って言うんだよ。

それが、

急に変わったりなんてしない。

あの子だって、

お前のこと誰だって思ってるよ。

バレてんだよ。

どうでも良くないフリをするのは、

あんたが、不幸が好きただけでしょ。